

2022年度 統計データ分析コンペティション

審査員奨励賞 [高校生の部]

高校生におけるヤングケアラーに対する認識について

後藤 颯太、島野 真緒、村川 莉奈
(岡山県立倉敷青陵高等学校)

高校生におけるヤングケアラーに対する認識について

後藤颯太 島野真緒 村川莉奈
岡山県立倉敷青陵高校

1. 研究のテーマと目的

近年問題視されているヤングケアラーは、家庭の事情であることから、周囲からの発見が困難であると言われている。2021年のデータを見ると、岡山県の人々は全国に比べ学習者率が高く、学習時間も多い(図1)。そのことから、勉強のために家にいる時間が多くなっていると考えられる。それに加え、新型コロナウイルスの流行も止まらず、政府は家庭内での自粛を推奨している。この状況は、ヤングケアラーを発見することを困難にする要因の1つでもある。

また、女子のヤングケアラーが男子のヤングケアラーよりも多いというデータから、性別役割分業意識が関係していると考えた(表1)。そこで我々は、人々のヤングケアラーに対する認識の程度を複数の観点から調べることで、ヤングケアラーにおける性別役割分業意識との関連性も含めた認識の違いを調査した。

ヤングケアラーにおける男女差について、表1に示すように、男女で①「要保護児童対策地域協議会に通告したケース」の割合の差が大きく、女性が男性の2倍以上の割合である。さらに、②「要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケース」も同様に男女差が大きく、女子の方が割合が高い。また、男女ではヤングケアラーとして担っている仕事の違いがあることが分かっている。我々はそれらに「性別役割分業意識」が関わっていると考えた。

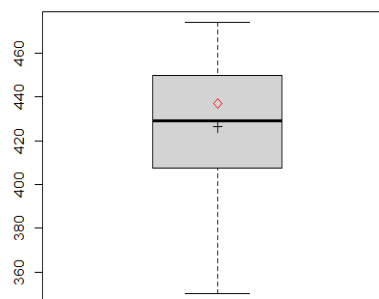


図1 在学者の平日の学習時間(◇は岡山、+は平均値を示す) SSDSE_Dの学業(在学者平日)から作成

表1 ヤングケアラーと思われる人の性別割合⁽¹⁾

	①要対協 n=108	②学校以外の外部の支援 n=190
女性	68.5	63.7
男性	28.7	34.7
その他	0.0	0.0
無回答	2.8	1.6

2. 研究の方法と手順

我々の研究では最初に、ヤングケアラーに影響を及ぼしているのは「内容」「時間」「年齢」「分業意識」に関する4つの認識であると考え、その要因について仮説を立てた。次に、その仮説を示すためにヤングケアラーに関する人々の認識を、先に述べた4つに分類して倉敷青陵高校の生徒233人にアンケートを取り、その回答を集めた。また、アンケートの結果には岡山県に住んでいることの影響も一定程度認められると考え、SSDSE等のデータを用いて、岡山県民の特徴と、その影響を考察した。このようにデータ及び回答を用いて仮説を検証した。その検証をもとにさらなる予想を立て、ヤングケアラーの周囲からの認識や、その男女差について調査した上で、最後にこの研究の課題を明確にした。

アンケートで質問した内容は、以下の1)~5)である。すべての質問には「その他」の項目を設け、自由に記述できるようにした。4. 2のグラフ1~5に乗っている選択肢のうち、下記の設問と選択肢にないものは「その他」に書き込まれた物である。

1) ヤングケアラーとされる人の行っていることは下記のうち、どれだと思えますか？(複数回答可)

- 家族の代わりに、買い物、料理、洗濯、掃除等の家事を行っている
- 家族の代わりに幼いきょうだいの世話をしている
- 障がいや病気のある家族の看病や、日常的な世話をしている
- 家計を支えるために労働をしている

- 目を離せない家族(認知症等)の見守りや声掛けなどの気遣いをしている
- 日本語が第一言語ではない家族や、障がいのある家族のために通訳をしている
- アルコール・薬物・ギャンブル問題(依存症等)の問題を抱える家族に対応している
- その他 []

(グラフ1に続く)

2) ヤングケアラーとは、『一般に大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども』とされています。先の定義より、ヤングケアラーは子どもだとされていますが、この場合、何歳までの子どもをヤングケアラーと考えますか？

- 12歳以下
- 15歳以下
- 18歳以下
- その他 []

(グラフ2に続く)

3) 部活動をしておらず、4時に帰宅する場合、1日にどれぐらいの時間家事を行っていたらヤングケアラーだと思いますか？

- 2時間未満
- 2時間以上4時間未満
- 4時間以上6時間未満
- 6時間以上
- その他 []

(グラフ3に続く)

4) 厚生労働省のヤングケアラーに対する調査で、女子のほうが男子に比べヤングケアラーになっているケースが多いことがわかっています。あなたは性別によって役割を分担することを どう思いますか？(男は仕事をし、女は家事をするなど)

- 賛成
- やや賛成
- 反対
- やや反対

(グラフ4に続く)

5) 可能であれば性別を教えてください。

- 男性
- 女性
- その他 []

(グラフ5に続く)

3. データセットの加工

3.1 使用したデータ

本研究のアンケートによるデータは非常に限定的な条件下のものとなっている。そのため、このデータがどのような特性下でとられたものかを明確化するためにSSDSE及びe-Statを用いた。使用したデータ名と、その出典一覧を表2に示す。

表2 使用したデータ

項目名	年度	出典
10歳以上の推定人口 生活行動編 過去1年間に活動した人の割合（行動者率） 89の行動の種類別の行動者率	2016	SSDSE__D
都道府県, 学習・自己啓発・訓練の種類別行動者率－男女総数(15歳以上)		平成28年社会生活基本調査 (総務省統計局)
都道府県, ボランティア活動の種類別行動者率－男女総数(15歳以上)		
都道府県, スポーツの種類別行動者率－男女総数(15歳以上)		
都道府県, 趣味・娯楽の種類別行動者率－男女総数(15歳以上)		
都道府県, 旅行・行楽の種類別行動者率－男女総数(15歳以上)		

3.2 加工したデータ

表2に示したデータを用いて、行動者率について、各項目における都道府県別の「10歳以上15歳未満」のデータを、統計分析ソフトウェア「R」を用いて算出した。使用した関数をスクリプト1に示す。

```
TenToFifteen<-function(tenList,fiftenList){
l<-matrix(1:90,nrow = 90)
for(a in 1:90){
  if(a==1){
    l[a]=tenList[1]-fiftenList[1]
  }else{
    Num10=tenList[a]/100*tenList[1]
    Num15=fiftenList[a]/100*fiftenList[1]
    l[a]<-(Num10-Num15)/(tenList[1]-fiftenList[1])
  }
}
return(l)
}
```

スクリプト1 データの加工

引数に渡すデータは「推定人口」から「22_海外(観光旅行)」までの各項目の値のみを残した状態に、Excelを用いて加工した後、「R」に読み込んだ(読み込んだデータは数値の二次元行列となっており、各行が各都道府県に、各列が各項目に対応している)。そのうえで、引数「tenList」にはその県の10歳以上のデータ、引数「fiftenList」にはその県の15歳以上のデータを渡した。

4. データ分析の結果

4.1 仮説

2.研究の方法と手順でも述べたように、ヤングケアラーに関する人々の認識をヤングケアラーの家事について、その「内容」「時間」「年齢」「分業意識」の4つに分類したのち、それぞれに注目して分析していった。

「内容」については、ヤングケアラーの名称にもある「ケア」に世話・介護という意味が含まれているので、「家族の代わりに、買い物、料理、洗濯、掃除等の家事を行っている」「家族の代わりに幼いきょうだいの世話をしている」「障がいや病気のある家族の看病や、日常的な世話をしている」の3つの選択肢の割合が高くなると考えた。

「時間」では、高校生の睡眠時刻の平均がおよそ0時だと聞いたことがあったため、4時に帰宅した場合、帰宅してから寝るまでの時間の半分以上となる、「4時間以上6時間未満」「6時間以上」のどちらかに票が集まるだろうと考えた。

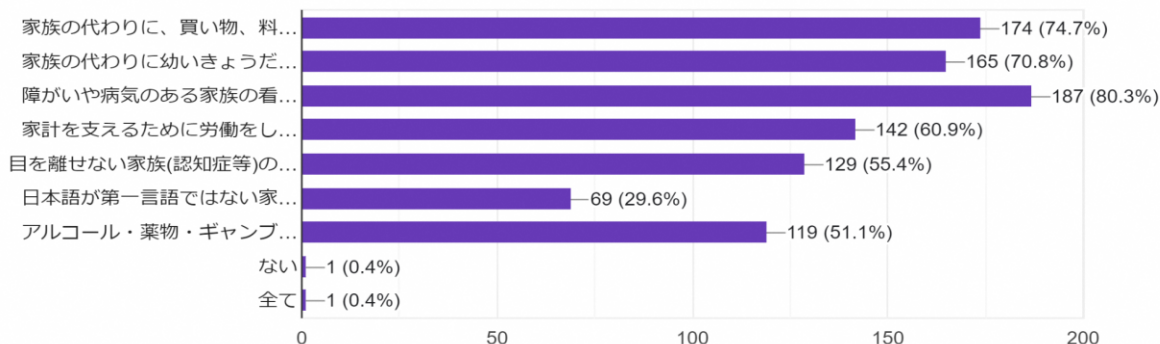
「年齢」では2022年の4月からの成人年齢の引き下げに伴い、一般的に18歳までは子供と認識されたことから、「18歳以下」が多くなるのではないかと考えた。

また「分業意識」は、高齢者の割合が年々増加し、日本における高齢者率が過去最高を更新していることから、高校生が高齢者と接する機会も増えていると予測されるため、高齢者にありがちな考え方である「性別役割分業意識」が多少は認識に影響している一方で、現代は男女平等の考え方が広まっているので、「性別役割分業意識」に対しては「反対」「やや反対」が男女共に圧倒的に多くなっているだろうと考えた。

4.2 アンケート結果

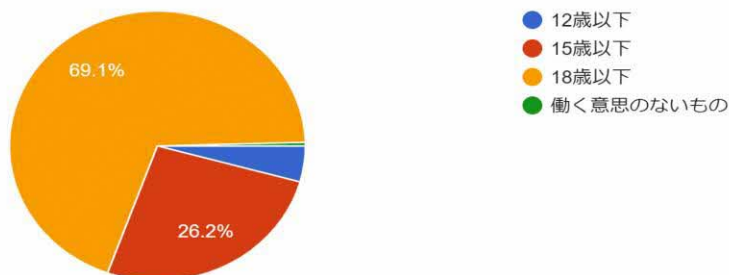
グラフ1

ヤングケアラーとされる人の行っていることは下記のうち、どれだと思いますか？（複数回答可）
233件の回答



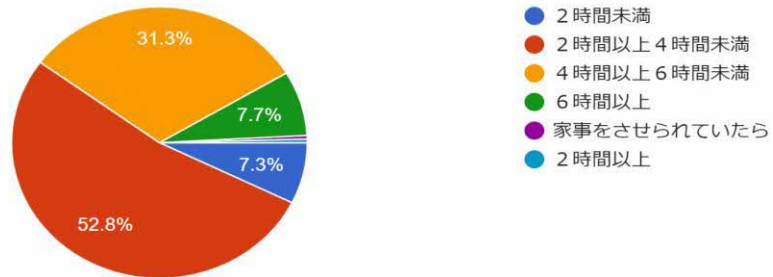
グラフ2

上記の定義より、ヤングケアラーは子どもだとさ...歳までの子どもをヤングケアラーと考えますか？
233件の回答



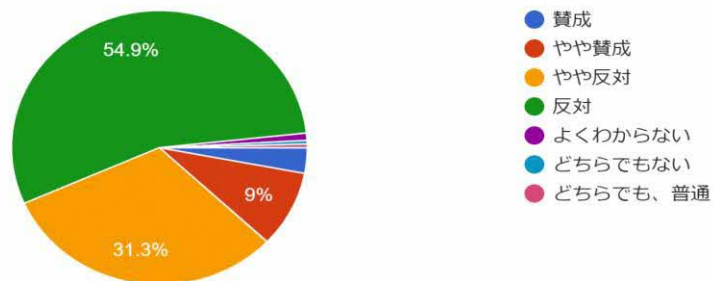
グラフ3

部活動をしておらず、4時に帰宅する場合、一日...を行っていたらヤングケアラーだと思いますか？
233件の回答



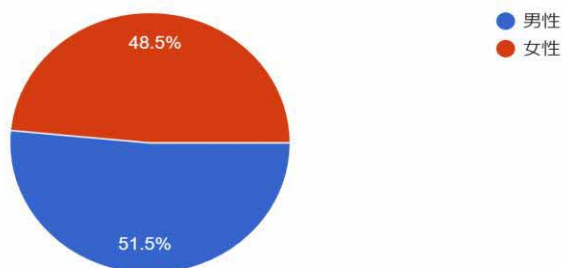
グラフ4

厚生労働省のヤングケアラーに対する調査で、女...ますか？（男は仕事をし、女は家事をするなど）
231件の回答



グラフ5

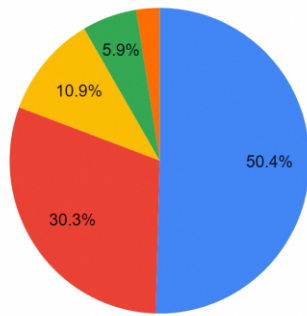
可能であれば、性別を教えてください
231件の回答



グラフ6

男性における性別役割分業意識

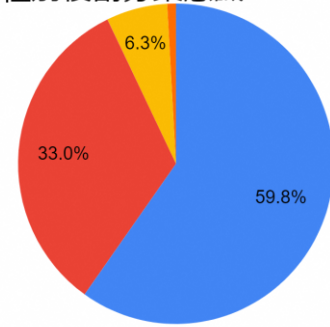
- 反対
- やや反対
- やや賛成
- 賛成
- その他



グラフ7

女性における性別役割分業意識

- 反対
- やや反対
- やや賛成
- その他



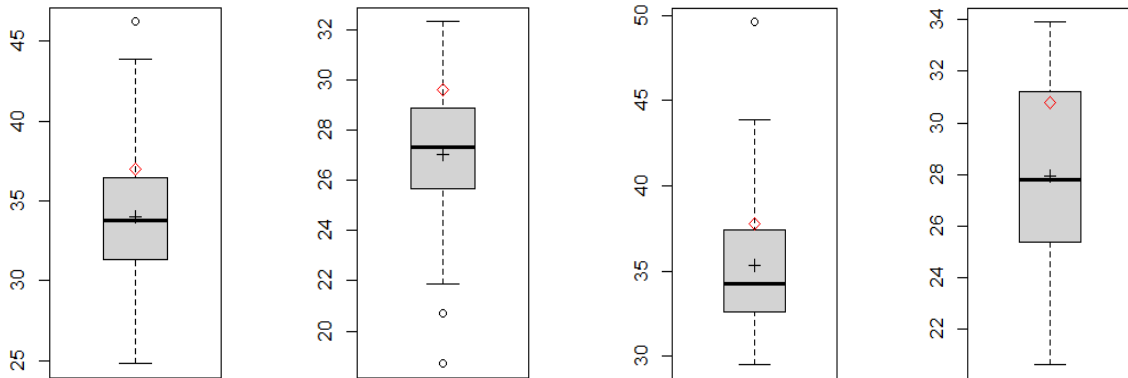
4. 3 SSDSE及び社会生活基本調査からの分析

3に示したデータから、岡山県民全体と、10～15歳の県民の県民性(どのような行動をとっているか)を推定するとともに、アンケート結果へどのような影響を及ぼしているのか、仮説を立てるため、SSDSE_Dに載っている行動者率の特徴を読み取った。

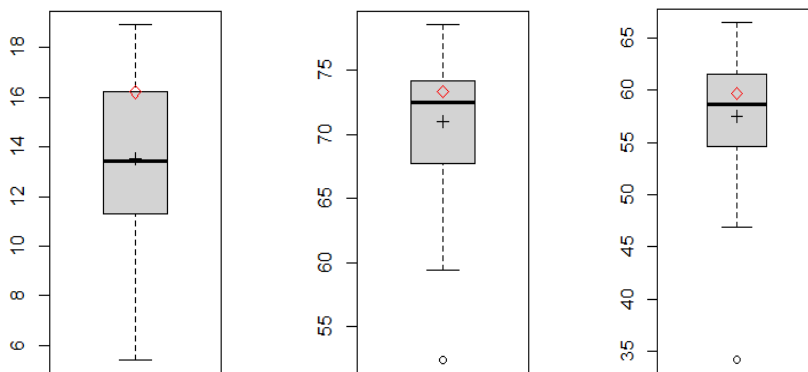
4. 3. 1 岡山県民全体の県民性の考察

SSDSE_Dの行動者率について、岡山県が全国平均を2(単位は%)以上上回っていたもののグラフを以下の図2～8に示す。◇は岡山県の値、十字は平均値、○は外れ値を表している。

岡山県民全体としては、学習等総数やボランティア、まちづくりのための活動などの行動者率が全国平均よりも高いことが分かった。



左から順に、図2 学習・自己啓発・訓練の総数、図3 園芸・庭いじり・ガーデニング、図4 趣味としての読書、図5 ボランティア活動の総数



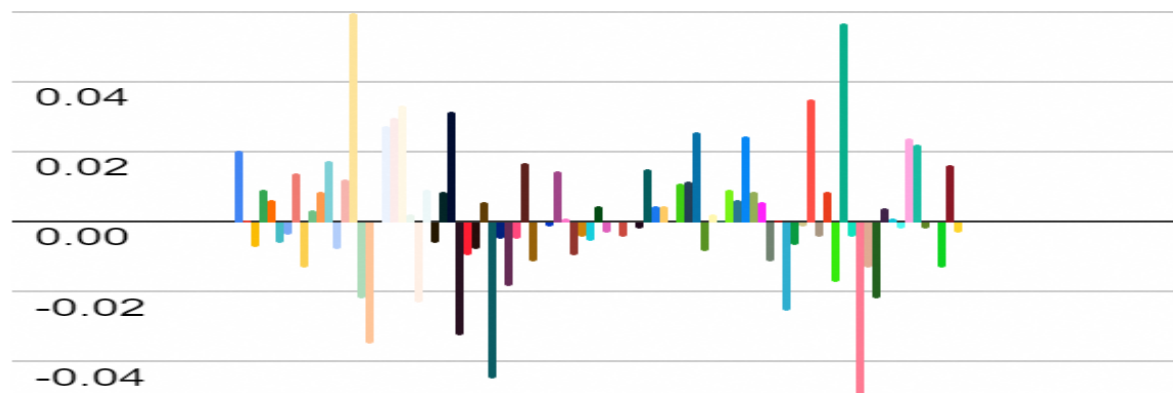
左から順に、図6 まちづくりのための活動、図7 旅行・行楽の総数、図8 行楽(日帰り)

4. 3. 2 10～15歳の岡山県民の県民性の考察

この節で使うグラフや図はすべて10～15歳の範囲でのデータである。

グラフ8はSSDSE_Dに乗っているデータの内、行動者率を示しているものの、岡山県と全国平均の差をグラフ化したものである。縦軸は全国平均との差(岡山県の行動者率から全国平均を引いたもの)、横軸は行動の内容となっており、並びは左から、SSDSE_Dの掲載順になっている

グラフ8 全国平均との比較



グラフ8を見ると、岡山県民全体について考察した際に比べて全国平均との差が小さいことが分かる。そこで、ここでは差が+0.04を超えた要素を行動者率における10～15歳の岡山県民の特徴とした。条件を満たしたのは**図9**、**10**の二つの項目だった。

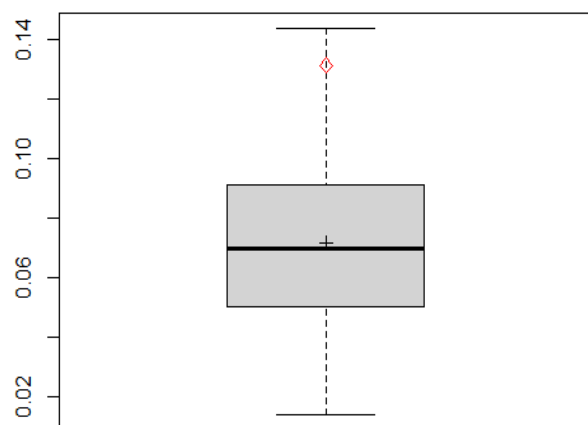


図9 ソフトボール

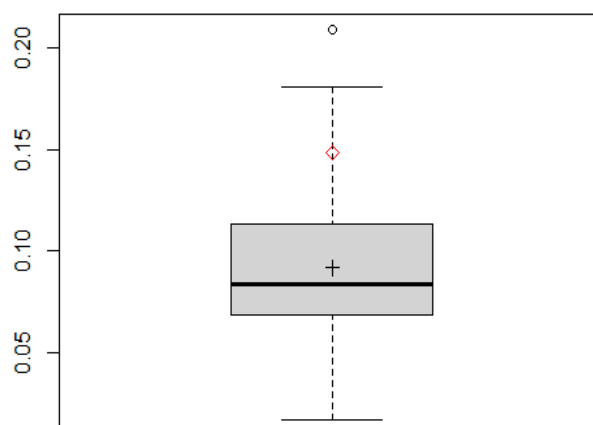


図10 子供を対象とした活動

4. 4 まとめ

グラフ1より、予想通り、「ケア」から想起される内容に対しての回答率が高い一方で、日本ケアラー連盟がホームページに掲載しているヤングケアラーの例の一つである、「日本語が第一言語ではない家族や、障がいのある家族のために通訳をしている」という選択肢に対しては30%未満の回答しなかった。

グラフ2より、予想通りに「18歳以下」の回答が多かったが、予想以上に「15歳以上」の回答率が約26%となっていた。

グラフ3より、予想に反して、「2時間以上4時間未満」の回答率が約53%と高かった。一方で、「4時間以上6時間未満」も約31%と高くなっていた。

グラフ4、**グラフ6**、**グラフ8**より、予想通りに「反対」、「やや反対」が約86%と非常に高かった。また、男女間で、「反対」の割合が約9%異なっており、女性では「賛成」の回答がないなど、大きな差が出た。

岡山県民全体としては、学習等総数やボランティア、まちづくりのための活動など、社会参画に関連する活動の行動者率が多いことが分かった。このことから、社会参画の意識が高いと思われる。

10～15歳の岡山県民では、ソフトボール、子供を対象とした活動の行動者率が高い。後者からは、子供と関わる機会が多い可能性や、子供に対する関心の高さが伺える。

5 結果の解釈

5.1 結果からの予想

4. 2の結果から、「内容」については、予想通り、「ケア」から想起される内容に対する回答率が高い一方で、日本ケアラー連盟がホームページに掲載しているヤングケアラーの例の一つである、「日本語が第一言語ではない家族や、障がいのある家族のために通訳をしている」という選択肢に対しては30%未満の回答しかなく、ヤングケアラーに対する興味関心は強いとは言えないと思われる。(グラフ1)

「年齢」については、おおむね予想通りであったが、15歳以下が想定より多くなった理由はアンケート結果のみからは不明だった。(グラフ2)

「時間」については、青陵高校の生徒にとって、家事を行うことが身近でないことが表れていると考えた。(グラフ3)

「分業意識」については、男性の方が「賛成」「やや賛成」の割合が高く、男女間での「性別役割分業意識」に対する認識の差が判明した。また、その差が表1の結果に表れている可能性は否定できない。

4. 3. 1の結果から、岡山県民全体としては、社会参画の意識が高いと思われる。すなわち、男女平等が重要視されている現代においては、性別役割分業意識に対しては反対の意見を持っている人が多いと推定される。

4. 3. 2の結果から、ソフトボールと今回のアンケート結果との関係は不明だが、子供を対象とした活動の行動者率が高いことから、子供への関心が高いと考えられる。そのため、子供の年齢ごとの能力についての知識が豊富であると推定され、「16歳以上の子供には十分な家事能力が認められ、手伝いや家事をするのはおかしなことではない」との考えなどから、想定以上に「15歳以下」と回答した人の割合が大きくなった可能性がある。

5.2 課題

「分業意識」については、「性別役割分業意識」について、肯定的な意見が非常に少なかったことから、肯定的な意見の人と否定的な意見の人での、他の質問に対する回答の傾向の違いを分析することはできなかった。また、アンケートを倉敷青陵高校以外の場所で行うことができず、今回の考察のほとんどが推測の域を超えないものとなってしまった。

5.3 展望

本稿で、倉敷青陵高校の生徒のヤングケアラーに対する認識について研究することができた。しかしながら、この結果のみから、「高校生におけるヤングケアラーに対する認識」を推定することはできない。

同じ「ヤングケアラー」と言ってもその実態は様々であり、必要な対応も一概ではない。本稿で行った分析が、各地域で、ヤングケアラーに対する認識の把握の参考となり、ヤングケアラーが現代社会の課題として適切に、柔軟な発想で議論されることを願っている。

6. 参考文献

(1)ヤングケアラーの実態に関する調査研究 報告書(案), 25 March 2021,
<https://www.mhlw.go.jp/content/11907000/000767897.pdf>. Accessed 16 August 2022.

(2)日本ケアラー連盟 - ケアラーを社会で支えるために,
<https://carersjapan.com/>. Accessed 20 August 2022.